

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第35号 2011年10月

「ほたるの里から水の旅」に参加して

ホタルメイト 矢田 恒晴

8月22日 子供環境教室にボランティアとして参加した。今回の目的は、副題として「乳子清水の水はどこへ流れるの?」とあるように、印旛沼の水質保全には、上流に当たる新川の浄化が必要であると言う事を、子供達に理解してもらうことである。

あいにく、前日から雨模様で、特に朝のうちはかなり強く雨が降っており、日程の進行が心配された。いざ出発し、臼井の龍神橋に到着した頃には雨は殆ど止んでいたが、屋形船の運行が休止となったので、湖畔からの沼の遠望と動物・植物の観察、屋形船の栈橋での小倉講師による「水質」の説明があった。栈橋では、最近印旛沼の周縁でも繁茂し問題となっているナガエツルノゲイトウやオニビシなどの植物の話もあり、子供達は興味を引かれていた。川水をサンプリングして子供達が透視度の測定を行った。

船上からの沼の観察の代わりに、急遽近くにある千葉県の内水面水産研究所を訪問し、展示室で千葉県の川や沼にいる魚の見学を行った。天然記念物のミヤマタナゴや、雷魚(カムルチー)・ナマズ・オオクチバス・ブルーギル・鯉・鮒・鮎など多数が展示してあった。皆さん「ナマズの卵は何色でしょうか?」、正解は「緑色」。産卵を田んぼや用水路などで行うために保護色となっているそうだ。↑



正解の子供達もいましたよ。昼食は八千代市に戻り、

生涯学習プラザで。床にブルーシートを敷いて皆で食べる昼食も、子供時代に帰ったようで楽しかった。

昼食後、小倉講師の指導で印旛沼の水でパケットによりCODとpHの測定実習。子供達は、最初は手つきがぎこちなかったが、次の見学地の乳子清水ではもうベテランとなっていて頼もしい。乳子清水では、小倉講師から、綺麗なはずの湧き水で硝酸態窒素が高いのは、背後の森の裏側の畑で使われる肥料の影響であり、この水も新川を経由して印旛沼へと流れてゆくとの説明を受け、子供達も印旛沼の水質との複雑な関係が判りかけてきた様であった。

駆け足の見学コースであったが、「水は繋がっており、印旛沼を綺麗にするには上流の八千代市の役割も大きい。」ことが、子供達に理解してもらえれば有り難いと思った。

※平成22年度 LOVE OUR BAY 募金の助成金を八千代市ほたるの里づくり実行委員会が頂き、「ほたるの里から水の旅」を八千代市環境保全課と共催して実施しました。

スケジュール	
8:50 印旛沼に出発～印旛沼を見る～ 生物の観察と印旛沼の水採取 他	13:00 水のお話～生物と水の関係～ 講師：小倉 久子氏 印旛沼の水のパケットテスト (COD、NO ₃ 、pH)
10:30 内水面水産研究所の見学と説明 講師：川津 浩二氏	14:00 乳子清水とほたるの里の観察 ①ほたるの里の説明 ②乳子清水の水調べ、パケットテスト 他
11:30 ～台地から印旛沼、新川を見る～ コース：船戸橋→印西市→阿宗橋	15:00 解散

子ども環境教室

～子ども達の声～

「水の水質について」

小学5年 大智

夏休みの8月22日（月）に、友だちと「子ども環境教室」に参加しました。

朝、市役所に集まるとすぐにバスに乗って、印ば沼、ほたるの里に行きました。

印ば沼の地面は、それまでの雨でぬかるんでいました。時々、雨もふっていました。そのため、楽しみにしていた屋形船は、中止になってしまいました。

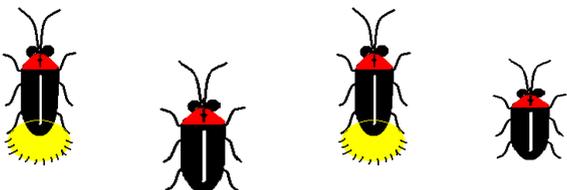
印ば沼の水は、緑色ににごっていて、これは、植物プランクトンであるアオコが大量発生したものだと言われました。

ぼくは、印ば沼の水の方がにごっているの、飲めないのだと思いましたが、実験をした結果、とうめいなちっこ清水でも、成分の悪いものが入っていて、飲むことができないことがわかりました。

もっともっと実験をして、飲める水かどうかを、完ぺきにわかるようにしたいです。



いんば沼の水のとうしどは、どのくらいかな？



「子どもかんきょう教室に参加して」

小学4年 彩

わたしは、8月22日に「子どもかんきょう教室」に参加しました。当日は、朝から大雨で、楽しみにしていた屋形船には乗れなかったの、すごく残念でした。

でも、学校とちがって、学年も違う子と友達になれたことがうれしかったです。

子どもかんきょう教室では、印ばぬまとちっこし水の水を調べました。印ばぬまの水は、にごっていて、きたなかったです。ほたるの里の水は、とう明できれいでした。

パックテストで印ばぬまとちっこし水の水を調べました。パックテストでは、少しの薬が入ったパック

の中に水を入れて、ふると水の色がピンク色に変わりました。パックテストに、水を入れるのが少しむずかかったです。白いこな薬がピンク色に変わったことがすごくびっくりしました。

「子どもかんきょう教室」に参加してわかったことは、印ばぬまにきたない水を流してはいけないということでした。これからは、絵のぐの筆やパレットをあらう時は、ぞうきんにしみこませてから、筆やパレットをあらった方が、短時間で、あらえるし、きたない水を流さなくてすむので、実行しようと思います。



左側：いんばぬまの水 右側：ちっこ清水



わたしが住んでいる所から、いんば沼までは？

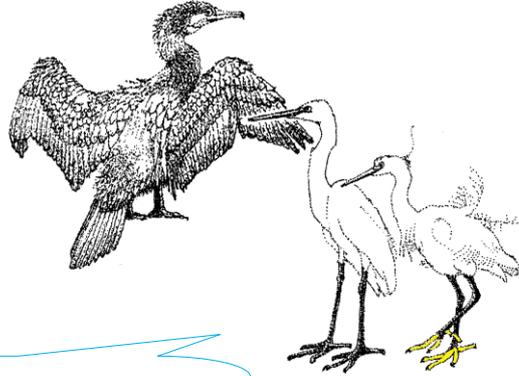
きっずコーナー

～印旛沼で見た鳥～

新川の鳥たちをかんさつするとおもしろいよ！
ほたるの里にもくるよ。

ぼくの羽はよく乾かさな
いと水をはじかないん
だ。

カワウ
体長 81 cm



ぼく、がまんづよいんだよ。
魚を見つけるまでじっとしているんだ。

ダイサギ
体長 90 cm



ねえ、ぼくのダイビングを見
てくれた？

コアジサシ
体長 28 cm

黄色のソックス、ぼくのじまん
なんだ。

コサギ
体長 61 cm



「ホタルを守ろう！ザリガニ釣り大会」を開催しました



8月27日 午前7時10分。目を覚ますと、昨日の夜の大雨が嘘のように止んで涼しく良い天候となっていました。前日の天気予報では雨の確率が高く、ザリガニ釣り大会に参加者が来てくれるかという心配がありました。そんな不安を抱きつつ車に乗り、ほたるの里へと向かいました。午前8時45分、役員の方をはじめ10人以上のホタルメイトが集まっていました。ただ子供の姿が見えなく不安は募る一方でした。5分ほど経った頃、一人の子供が釣り竿とバケツを持って走ってくる姿が見えました。そうしてザリガニを釣る道具を持った親子さん方などの姿が次々と見え始めました。午前9時過ぎ、環境整備のホタルメイトとザリガニ釣り大会参加者合計で20人以上の人が集まり、「ホタルを守ろう！ザリガニ釣り大会」は無事に開催することができました。

ザリガニ釣りは初めトンボ池で行っていましたが、全くザリガニは釣れず

釣る場所を水路や湿地の方へと移動しました。参加者の皆さんがザリガニはいない方がホタルには良いということでザリガニがいる所を探して回っていました。水路と湿地の方へ行くとザリガニは目で確認ができました。

参加者全員が一丸となり、ホタルの幼虫の天敵であるザリガニの駆除が行えました。私はこの体験をしたことで一層ほたるの里に親しみを持ってました。もちろん「ホタル」がほたるの里で自生していけるようになるには水中や土中、陸上の温度が一定に保たれること、ホタルハウスへの日当たりの問題など課題は残っています。しかし、このザリガニ釣り大会に参加し、「ホタル」の自生



の目標に少しでも近づき、ほたるの里の生き物の自然保護に貢献できていれば幸いです。そして、参加して下さった方々が自主的に釣ったザリガニをほたるの里から持ち帰って下さったことが何よりも印象に残っています。

(文責 広報部)

10～12月のスケジュール

ほたるの里づくり実行委員会からのお知らせ

バス見学会の参加者募集！

バスで印旛沼に行き屋形船に乗り、印旛沼の水質、動植物の生態について専門家の説明を聞き観察します。

日 時：10月30日（日）

9時00分～15時00分 ※雨天決行

集合場所：八千代市役所玄関前

対 象：市内在住の大人（20歳以上）

参加費：500円（バス代、保険料等）

募集人数：抽選10人

申し込み：電話で10月20日（木）までに
環境保全課環境政策室へ



里の環境整備

ほたるの里でホタルが棲みやすい環境にするために、草刈りや湿地の整備を行います。

日 時：11月12日（土）午前10時～12時

集合場所：ほたるの里（米本4816）

持 ち 物：長袖、長ズボン、長靴、帽子、飲み物、軍手（汚れてもよい服装で）

印旛沼環境・体験フェアに出展します！

印旛沼環境・体験フェア

日時：10月22日（土）11時～15時

場所：佐倉ふるさと広場向かい
（佐倉市臼井田2714）

『サポートセンター祭』に出展します！

日 時：11月23日（水・祝）

10:00～17:00

場 所：イオン八千代緑が丘ショッピングセンター
アゼリア広場、ローズ広場



里づくり実行委員会は、LOVE OUR BAY 募金をいただき今回のだよりはカラー印刷しました。

環境保全課からのお知らせ

「谷津・里山」「ほたるの里」作品展開催

市民の皆さんから寄せられた、谷津・里山の魅力や、ほたるの里を題材にした作品を展示します。

作品の募集は10月12日までに環境保全課へ。

①場所：イトーヨーカドー八千代店

日時：10月18日（火）正午～26日（水）正午

②場所：イオン八千代緑が丘ショッピングセンター

日時：11月1日（火）正午～6日（日）正午



秋の自然調査会の実施のお知らせ

島田谷津周辺の歴史や生態について、講師から調査方法を学びながら歩きます。先着20人。

日 時：11月4日（金）

午前9時50分～午前12時

集合及び解散場所：東邦大学桑橋グラウンド前（桑橋）

講 師：稲田 晃 氏

参 加 費：50円（保険料）

申 し 込 み：電話で環境保全課環境政策室へ

ナイトウォッチング報告

昨年冬に完成したホタルハウスの実験水路に50匹以上の幼虫を試験的に放流しました。残念ながら、成虫を観ることはできませんでした。原因は幼虫の上陸期間である6月に雨が少なく、上陸場所の温度が上がったこと、またホタルハウスへの日当たりが強くなり一定の温度、湿度を保てなかったこと等が考えられます。今後の対策に活かしていきます。（管理部）

【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoul@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局